

平成31(2019)年度

関西医科大学大学院看護学研究科
博士後期課程(博士)
学生募集要項 [夏期日程]

関西医科大学大学院 看護学研究科
〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号
Tel: (072) 804-0205, 0207(事務室直通)
E-mail: nursing@hirakata.kmu.ac.jp(事務室代表)

看護学研究科博士後期課程学生募集要項

1. 募集人員

研究科名	専攻名	課程	募集人員
看護学研究科	看護学専攻	博士後期課程(3年)	5名

2. 出願資格

本学看護学研究科(以下、本研究科 という)の博士後期課程に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成31年3月までに修士の学位を取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士または専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣が指定した者（平成元年文部省告示第118号）・・・出願資格審査必要
- (6) その他本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者
・・・出願資格審査必要

注) (5)、(6)の出願資格審査対象者の基準は次の通りとし、出願前に個別の出願資格審査を受けること。

- (ア) 研究論文「学術誌などに掲載された査読のある研究論文」3編以上、うち1編は筆頭著者であることが望ましい
(イ) 看護職免許の有無は問わないが、看護学領域の研究テーマ・業績を有するもの

※出願資格審査(該当者のみ)

①申請方法

封筒に「看護学研究科出願資格審査書類(博士後期課程)在中」と朱書きし、申請書類を簡易書留郵便で郵送して下さい(郵送のみ受付)。事前に志望する専門分野の指導教員と相談して下さい。

②申請期間

平成30年7月9日(月)～平成30年7月11日(水)【必着】

③申請書類送付先

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号 関西医科大学看護学部事務室

④申請書類

1. 出願資格審査申請書(本研究科所定の用紙をホームページよりダウンロードし作成すること)
2. 最終学歴に関する証明書(修了証明書、修了見込み証明書、学位授与証明書のいずれか)
3. 研究論文の写し3編(1編は筆頭著者であることが望ましい)
4. 返信用封筒(宛名を明記、切手362円(速達用)を貼付すること)

⑤出願資格審査結果通知

出願資格審査の結果は、平成30年7月20日(金)を目途として郵送にて発送予定です。結果通知後、出願を許可された者は、提出書類を出願締切日までに郵送下さい。

3. 願書受理期間及び提出書類

(1)出願期間

平成30年7月23日(月)～平成30年8月6日(月)【必着】

注)出願期間後に到着した願書は受理しません。

(2) 出願方法

- ①出願にあたっては、事前に志望する専門分野の指導教員(8ページ参照)と相談して下さい。
- ②出願書類は一括して封筒に入れ、封筒の表に「大学院(博士後期)出願書類在中」と朱書きし、「簡易書留速達郵便」で郵送して下さい(郵送のみ受付)

(3) 入学検定料

35,000円

入学検定料を出願期間内に必ず受験者本人名義で振込下さい(手数料本人負担)

金融機関: りそな銀行(0010)

支店名: 守口支店(211)

預金種別: 普通預金

口座番号: 4667068

口座名義: 学校法人関西医科大学 理事長 山下敏夫

(カナ): ガク)カンサイイカダイガク リジチョウ ヤマシタトシオ

(4) 申請書類送付先

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号

関西医科大学大看護学部事務室

(5) 出願上の注意事項

- ①受理した出願書類は、理由の如何を問わず返還しません。
- ②入学検定料は、払い戻ししません。
- ③疾病・負傷や身体障害のために受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願期間開始までに申し出て下さい。
- ④出願に伴う個人情報は選考目的以外には利用しません。なお、入学者については、「教務関係(学籍管理、就学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料収納に関する業務」を行うために利用します。

(6) 出願書類(所定様式については、ホームページよりダウンロードのうえ、作成して下さい)

出願書類	作成方法	確認
入学志願票(表) 履歴書(裏)	本研究科所定の様式 入学志願票と履歴書は両面印刷して下さい。	☐
志望理由書	本研究科所定の様式 博士後期課程で行いたい研究課題も含め800字(400字×2枚)以内にまとめる。	☐
研究業績調書	本研究科所定の様式 必要枚数をコピーして記載する。 研究業績がない場合、「なし」と記載して下さい。	☐
受験票	本研究科所定の様式・出願3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向き 縦 5cm 横 4cm の写真を貼付(写真の裏面には氏名を記入しておくこと)	☐
受験票返信用封筒	定型封筒長形3号(ヨコ12cm×タテ23.5cm)に、返信先の住所・氏名を明記し、 392円切手(含簡易書留料金)を貼付したもの。	☐

入学検定料振込書	入学検定料の振込証明書(またはATMによる振込票)を入学志願票裏面(履歴書下部)に貼付して下さい。インターネットバンキングを利用した場合には、振込完了の画面を印刷のうえ貼付して下さい。	☐
修了(見込)証明書(原本)	大学院修士課程若しくは大学院修士課程に相当するものを修了(見込)したことを証明するもの。又はこれに相当するもの 関西医科大学附属看護専門学校卒業生は卒業証明書	☐
成績証明書(原本)	・出身の機関の長が作成したもの ・大学以外の教育機関で看護教育(看護師、保健師、助産師)を受けた者は、当該校の成績証明書	☐
免許証等の写し *免許を持つ者	看護師、保健師、助産師の免許証の写し (A4 サイズに縮小すること) 関西医科大学附属医療機関に勤務する者は、在職証明書	☐
その他	証明書等が現在の姓名と異なる場合、異動内容が確認できる戸籍抄本を必ず同封して下さい。	☐

4. 志望領域の選定

志望者は、別表「指導教員の研究概要」(8ページ参照)に示す研究分野のうち、志望する分野と領域を入学志願票に記入する必要があります。

5. 試験日程・試験場所

入学試験は、外国語(英語)試験、専門科目(看護共通)試験、面接試験の結果及び提出書類内容を総合的に判断して実施します。

以下に指定する英語検定試験のいずれかにおいて過去2年以内のスコアが下記である場合には本学の外国語(英語)の試験を免除します。検定試験結果を必ず提出して下さい。

TOEFL(国際教育交換協議会)

PBT 550点以上

CBT 213点以上

iBT 80点以上

実用英語技能検定(日本英語検定協会) 準1級以上

(1) 試験科目

- ①外国語(英語) ※辞書持込可(電子辞書不可)
- ②看護共通
- ③面接

(2) 試験日程

年月日	時 間	科目名	配点	場 所
平成 30 年 8 月 21 日(火)	9:30～11:00	外国語(英語)	100点	関西医科大学 枚方キャンパス 看護学部棟
	11:20～12:50	看護共通	100点	
	13:50～	面接	—	

* 分野によって冬期日程を実施する場合があります。

(3) 注意事項

- ① 試験当日は受験票を必ず持参し、9時までに着席して下さい。
- ② 天候・公共交通機関の状況により、試験開始時刻を遅らせることがあります。
- ③ 試験開始後30分を超えて遅刻した場合は、受験を認めません。また試験時間中の退出はできません。
- ④ 電卓、電子辞書、計算機能及び辞書機能を備えた時計の持ち込みは禁止します。
- ⑤ 試験に際しては携帯電話等の電源は必ず切って、カバン等に入れて下さい。

- ⑥ 昼食は各自で持参して下さい。
- ⑦ 試験会場では駐車場が利用できませんので、公共交通機関を利用して下さい。
- ⑧ 大学敷地内はすべて禁煙です。

6. 合格発表

平成 30 年 8 月 29 日(水)正午に本学枚方キャンパス看護学部棟エントランスホール掲示板にて受験番号で掲示発表及び本学

ホームページに掲載します。また、合格者には、発表当日に合格通知書及び入学手続書類を発送します。電話による可否の問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続・学費等

合格者には後日別途案内します。

(1) 入学手続期間

平成30 年 8 月 29 日(水)(合格発表当日)～9 月 10 日(月)【必着】

(2) 入学手続書類

- ① 誓約書
- ② 住民票記載事項証明書(外国籍の方も同様)

(3) 入学金・学費

	学 費	
	前期(入学手続時)	後期(納入期限:9/30)
入 学 金(初年度のみ)	200,000円	—
授 業 料	250,000円	250,000円
教育充実費	50,000円	50,000円
合 計	500,000円	300,000円

注1)実習関連経費は自己負担となります。

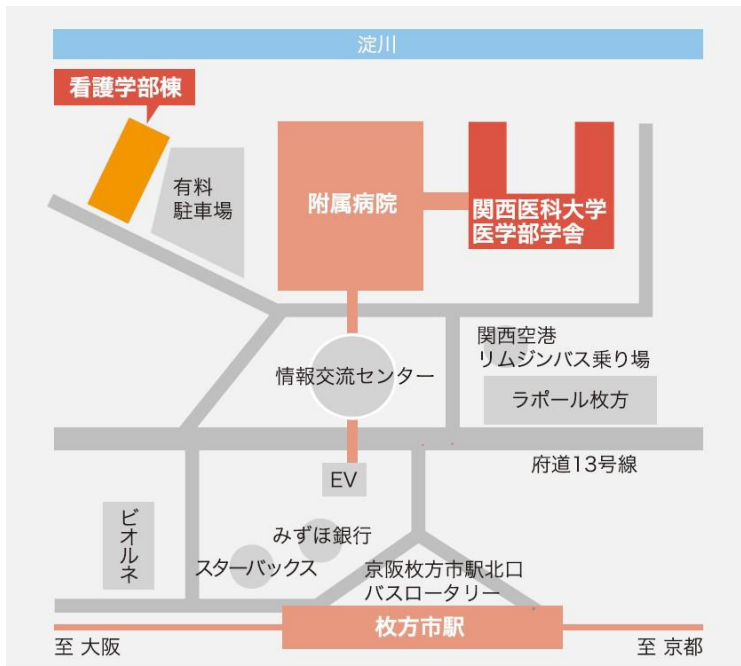
注2)関西医科大学附属看護専門学校卒業生、関西医科大学附属医療機関に勤務する者は入学金を減免(半額)します。

(4) 長期履修制度

申請が許可された者の長期履修適応年数は、博士後期課程4年とします。

8. 交通アクセス

受験会場: 関西医科大学 枚方キャンパス 看護学部棟
京阪本線枚方市駅下車 徒歩5分



9. 出願に関する問い合わせ先

関西医科大学看護学部事務室

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号

Tel : 072-804-0205, 0207 (事務室直通)

E-mail : nursing@hirakata.kmu.ac.jp (事務室代表)

※分野等についての問い合わせは、メール(nursing@hirakata.kmu.ac.jp)にて受け付けます。

件名を【課程(博士後期)志望する分野(基盤看護など)】を記載して下さい。

事務取扱時間

平日 9時～17時

土曜日 9時～12時50分(第1・3・5土曜日)

※第2・4土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は閉室

看護学研究科博士後期課程の概要

1. アドミッションポリシー

- ① 人の尊厳を尊重し、高い倫理観のもとで社会に貢献する意思と使命感を有する人
- ② 専門分野に精通した知識と柔軟な発想を有する人
- ③ 看護実践力を基盤とし看護を取り巻く環境で生じる現象を見極め、教育と研究を推進できる人
- ④ 生活する人の視点とグローバルな視野を併せ持ち、看護の革新を目指す人
- ⑤ 看護学の発展につながる研究力・教育力および革新する力を高めることへの強い意志を有する人

2. カリキュラムの編成

博士後期課程は、看護実践に根差した高い教育能力と研究能力を有する人材の育成のための科目を配置する。専門分野として、博士前期課程と同様に基盤看護、広域看護、生涯発達看護、治療看護の4分野を設け、教育の一貫性を保持しながら専門分野の学びを深めることを目的としている。また、実践を革新するための研究課題に取り組み、自立した研究能力を養うため特別研究を配置している。

3. カリキュラムポリシー

博士後期課程では、人の健康に関わる多様な自然環境や社会環境等の変化の中で展開されている看護実践における現象を、地域に根差しつつもグローバルな視野の基に分析し、今後、看護が果たすべき方向や課題を見極め、看護実践を革新することができる人材育成を目指したカリキュラムを編成する。

- ① 看護学の学術的発展を教育・研究を通して担う力を修得するための基盤となる看護理論や研究法を学ぶ授業を配置する。
- ② 環境と健康との関連を、地域、国内、国際的視野で捉え、看護がなすべき方向や課題を洞察、革新する力を養うための科目を配置する。
- ③ 専門分野の学識を深めるため、専門分野には特論と演習を配置する。
- ④ 看護を取り巻く環境で生じる現象を多角的な観点から捉え自立した研究能力を培うため、多様な研究法の講義・演習を配置する。

4. ディプロマポリシー

- ① 看護実践に不可欠な科学的・学際的な知識を基に看護実践を創造するための自立した研究活動、および次世代の看護を見据えた教育力をもつことができる。
- ② 国内外の専門家と協働して、人々の健康と生活にかかわる社会システムの構築および変革を行うことができる。
- ③ 看護が社会に果たすべき役割を自覚し、専門職としての高い倫理観と責任感を基に看護実践を革新するための開発を行うことができる。
- ④ 人々の生活の質(Quality of life: QOL)、社会の発展および平和に貢献することができる。

5. 指導教員の研究概要

分野	指導教員	概 要
基盤看護 分野	片田範子	実践科学として取り組むべき現象を臨床体験や文献などの体系的探索を通して特定し、看護現象の構造を明らかにする。倫理的側面に焦点をあてた看護介入や現象も含め、看護方法論の開発や中範囲理論の構築などを目的とした研究的探求を支援する。
	藤本悦子 杉本哲夫	基盤看護分野での看護技術の検証と開発、睡眠に関する研究、リンパ浮腫ケアに関する研究、組織再生に関する研究の指導を行う。
	近藤麻理	グローバルな健康課題の中から課題を選択し、海外フィールドにおいて調査を行う研究に関する指導を行う。
	安酸史子	経験型実習教育のアクション・リサーチ、教師教育の方法論に関する研究、ケアリング・サイクルの形成に関する研究の指導を行う。
広域看護 分野 平成31年度 開講予定	上野昌江 (平成31年度 着任予定)	周産期からの子ども虐待予防における保健師の支援技術の明確化(保健師対象)、子ども虐待予防における困難事例へのケアモデルの構築(親への支援)、個人・家族、集団、地域を対象とした地域看護実践における支援技術の研究に関する指導を行う。
生涯発達 看護分野	加藤令子	こども自身が持つ力を高め、主体的に医療に参加するためのケアプログラム開発、医療を必要とするこども・障がいのあるこども自身が自然災害に備えるためのプログラム開発、こども看護における看護職の役割拡大の研究に関する指導を行う。
	片田範子	病院・外来・施設・学校・在宅等での子どもの支援体制や看護方法について現象から課題探究する研究についての指導を行う。
	酒井ひろ子	生涯を通じた女性のリプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する健康課題、周産期周辺にある女性とその家族の健康課題、女性の健康課題、女性のエンパワーメントに着目した開発途上国支援の研究に関する指導を行う。
治療看護 分野	水野敏子	高齢者の終末期看護として、特に在宅における終末期看護、独り暮らし高齢者の終末期看護、認知症高齢者の看護としては認知症と身体合併症を併せ持つ高齢者の急性期看護、急性期医療における高齢者看護、および、高齢者を介護する家族の介護と負担、高齢者の転居と生活の質の変化、高齢者の健康増進についての研究に関する指導を行う。
	瀬戸奈津子	糖尿病看護における実践能力育成プログラムの評価、慢性心不全患者の外来看護支援ツールの開発、クローン病患者の症状と運動の関係等、慢性疾患看護を中心としたテーマの研究に関する指導を行う。
	林 優子	急性期及び周手術期におけるシミュレーション教育やIBL(Inquiry based learning)教育、クリティカルケア看護師の臨床判断、臓器移植看護における倫理的実践に関する研究、患者教育のための看護実践モデルの開発等、看護実践力、倫理的実践力、教育方法等の研究に関する指導を行う。

